2024
October
10
No.1141

広報

このまちを、もっと好きになる

ふくちやま

Fukuchiyama City Public Relations

いがいと！福知山

特集 －命、未来をつなぐバトン－
骨髄バンクの輪

P.8 生きがいとエネルギーと安心をつくる公民館
新設の桃映地域公民館が完成

家族5人で笑い合う佐藤遼さん一家

特集

－命、未来をつなぐバトン－

骨髄バンクの輪

福知山市は、骨髄バンク発祥の地です。そして、「献血と骨髄バンクの支援を広げる都市宣言」を行った全国唯一の市として、日本全国に献血と骨髄バンクの輪を広げ、次世代に引き継ぎます。

10月は骨髄バンク推進月間です。

皆さんは骨髄バンクがどのような役割を果たしているか知っていますか？

今月号では、骨髄バンクに命を救われた佐藤遼（さとうはるか）さんと、骨髄バンクの設立に向けて奮闘した藤岡八重子（ふじおかやえこ）さんにお話をお伺いしました。

問 健康医療課（TEL 23-2788・FAX 23-5998）

何かがおかしい 体調の悪化を感じる日々

平成29年の冬、当時31歳だった佐藤遼さんは体調の異変を感じはじめていました。

「次第に疲れや倦怠感、発熱などの症状が続くようになりました。解熱剤も効かなくなったとき、やはりこれは何かの病気だと思い受診しました」

内科の先生は、血液検査の結果を見て驚いた様子だったそうです。

「『なんか数値がおかしいから専門の先生にも見てもらうわ』と言われました。正直とても不安でした。しばらくしてスタッフさんがやってきて言うんです。『ご家族の人を呼んでください』って」

病院に妻の由佳子（ゆかこ）さんを呼んで、一緒に診断を聞きました。

生きたい理由があるのに 本当に死んでしまうかも

「白血病ですね」

病名がわかった安堵感と、元々楽観的な性格なこともあり、案外冷静に話を聞けたと佐藤さんは振り返ります。

「治療法が確立されていない難病かと思っていたので、病名がついて安堵しました。しかし、私の病気の型の場合、3分の1の確率で5年以内に亡くなると説明を聞き、徐々に死を意識しました。その確率が高いのか低いのか、頭の中でぐるぐると考えました」

佐藤さんは、当時の心情の変化を思い返しながら話します。

「『治療の過程で生殖能力がなくなる可能性がある。精子保存をしてはどうか』と提案され、次の日には妻と京都市内の病院へ行きました。私が死んだら精子は破棄すると説明があり、より強く死ぬという実感がわき、福知山に帰る車の中は涙が止まりませんでした。

友人から届けられた千羽鶴と佐藤さん（平成30年7月）

おもちゃで一緒に遊ぶ佐藤さんと3人の子どもたち

した。子どもも欲しかったし、人生でやりたいことがまだまだたくさんありましたから」

家族以外は面会謝絶 支えてくれた同僚と友人

福知山に帰ると無菌室に隔離され、輸血と抗がん剤治療がはじまりました。

「抗がん剤治療は車酔いのような胸のむかつきがあり、次第に髪が抜ける、爪が浮く、長期間の発熱などのさまざまな副作用が出ました」

家族以外と会えず、辛い治療を続ける中で、友人や同僚が佐藤さんの心を支えました。

「面会謝絶なのに、友人が私を元気づけようと病室の前まで会いに来て、手紙や千羽鶴を届けてくれました」

ほかにも、お守りをくれたり、電話で一緒に泣いてくれたりと、周囲の人のあたたかい心に助けられたと当時を振り返ります。

当時の様子を話す佐藤さん

骨髄バンクを通して 骨髄移植

佐藤さんの場合、抗がん剤治療だけでは治りにくいことがわかり、骨髄移植を受けることに。両親や姉はドナー適合しなかったため、骨髄バンクでドナーを探すことが決まりました。

「移植可能な人はドナー候補者の中で10人いたらいい方だと言われましたが、89人も見つかって。奇跡だと思いました。ドナーさんのおかげで夏には移植が始まりました。ドナー候補者はいろいろな事情で提供に至らないこともあります。ドナーを探す人のうち、2人に1人はドナーを見つけるのに1年以上時間がかかります。私は、とても運がよかったんです」

骨髄バンクでつながった命 子どもが生きがいに

骨髄移植を開始してから、10日ほどで血液が置き換わりました。

「前処置、移植による強い副作用はありましたが、幸いなことに拒絶反応はほとんどありませんでした。完全にドナーさんの血に置き換わったと聞き、安心感がありました。骨髄バンクとドナーさんに改めて感謝しました」

骨髄移植を受けてから6年が経ち、佐藤さんは今、4歳の女の子と、2歳になる双子の男の子と妻の家族5人でにぎやかに暮らしています。一般的に、白血病が再発する可能性が低くなるのは、骨髄移植を受けてから5年と言われています。

「病院の中で死んでしまうのかと思ったこともありましたが、これから成長していく子どもたちと一緒に過ごせることを、この上ない幸せと感じています。骨髄バンクとドナーさんの存在がなければなかったかもしれない人生。今の生活を送れていることに感謝しています」

白血病との闘いを終え 骨髄バンクの輪を広げる

令和2年、佐藤さんは、日本の骨髄バンク設立に大きな役割を果たしたNPO法人献血と骨髄バンクの和を広げる会のことを新聞で知り、会長の藤岡八重子さんに会いに行きこう伝えました。

「骨髄バンクを通して骨髄をもらい、助かりました。ありがとうございました」

今では、佐藤さんも会のメンバーとなり、骨髄移植を受けた経験を講演会で話し、ドナー登録を呼びかけています。また、自身が勤める会社に、骨髄提供に関わるドナー休暇制度の新設を提案しました。

「せっかく骨髄バンクに助けてもらった命です。無駄にはできません。恩返しの気持ちで活動しています。ドナー候補者が骨髄提供しやすい環境にするため、献血と骨髄バンクの理解を得る活動を続けていきたいと思います」

佐藤さんは、こう呼びかけます。

「皆さんが献血や骨髄バンクに協力してくださることでやっと助かる人がいることを知ってほしいです。ぜひ献血と骨髄バンクへのドナー登録をお願いします」

講演会でドナー登録を呼びかける佐藤さん

Interview ドナー経験者の声 人の命に関わる尊い経験でした

市内在住　石田拓郎（いしだたくろう）さん（42）
（32歳のときに骨髄を提供）

・なぜ骨髄提供を決めましたか

私自身、子育てをする中で社会的なサポートに助けられた経験があったので、社会や困った人に恩返ししたいと、ずっと考えていました。ドナーに選ばれたときは、やっと誰かの役に立てると思いました。

・入院について教えてください

京都市内の病院に3泊4日入院しました。仕事が気がかりでしたが、上司や同僚の理解とサポートのおかげで、無事、骨髄提供できました。

・術後の身体の痛みはありましたか

術後1週間ぐらい、腰に少し痛みや張りがありました。個人差はあると思いますが、想像していたよりもダメージは軽かったです。日常生活に支障はありませんでした。

・骨髄提供後の感想を教えてください

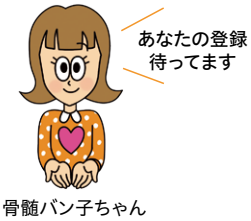
術後、お相手からいただいた手紙に「人生に続きができました。ありがとうございました」と綴られており、命に関わる尊い経験をした実感がわきました。提供してよかったと感じました。

病気治療のカギはあなたの骨髄かも！？

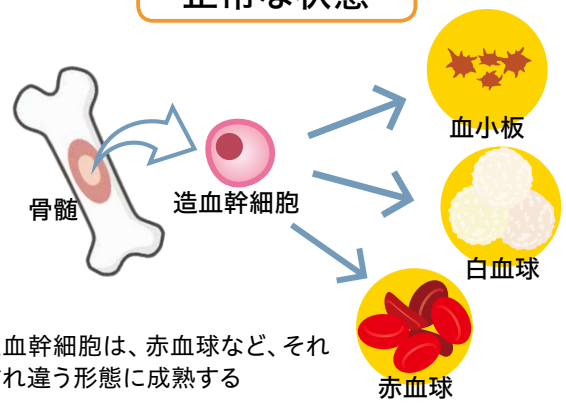
白血病などの治療には造血幹細胞移植が不可欠

血液の病気になると正しい血液が造れなくなります。
化学療法だけで完治できる患者さんは限られており、
正しい血液を造る細胞「造血幹細胞」を移植することで
血を作る機能を回復させる治療法「造血幹細胞移植」が必要なケースが多くあります。

骨髄バンクの詳細はこちら

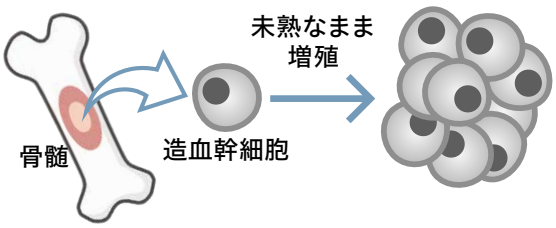


正常な状態



造血幹細胞は、赤血球など、それぞれ違う形態に成熟する

白血病



造血幹細胞に何らかの変異がおき、異常な細胞が無限に増殖する。一旦増殖を始めた細胞は、何らかの治療をしなければ増殖をやめない

標準的な白血病の治療

ドナーがたくさんいれば、命を救える確率が上がる

ドナーから細胞を移植する場合、白血球の型（HLA型）が適合しなければなりません。
HLA型は約1万6千種あるといわれています。

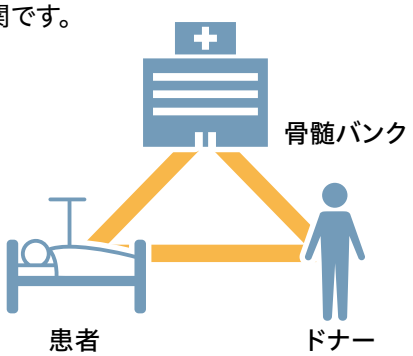
HLA型が血縁者以外と適合する確率…　1 / 数百人〜数万人

今、日本でドナーを探している人…　1694人
（令和6年７月末現在）

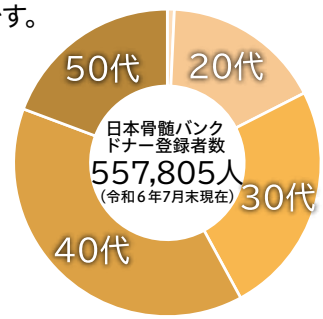
1694人の中に、あなたの骨髄を待っている人がいるかもしれません

今のドナー登録者のうち約60%が15年以内に卒業

骨髄バンクはドナー登録者を募り、
造血幹細胞移植が必要な患者と、細胞を提供するドナーをつなぐ機関です。



骨髄バンクへの登録には年齢制限があり、満55歳の誕生日で登録取り消しになってしまいます。登録者の大半が卒業のタイミングを迎えた今、命を救うために皆さんの協力が必要です。



各データ出展：日本骨髄バンクデータ集

平成元年、藤岡八重子（ふじおかやえこ）さんの娘の貴子（たかこ）さん（享年・13歳）が白血病で亡くなられました。当時、貴子さんを救おうとした藤岡さんをはじめ市民の皆さんの取り組みは国を動かし、日本骨髄バンクの設立へとつながりました。現在は地元福知山を拠点とするNPO法人で、献血と骨髄バンクへの理解と協力を求める活動をしています。

NPO法人 献血と骨髄バンクの和を広げる会　理事長
藤岡 八重子（ふじおかやえこ） さん

骨髄が必要な全ての人に移植の機会がありますように

ドナーを必死に探す骨髄バンクがない時代だった

昭和61年、当時10歳だった藤岡貴子さんは、3歳のときに罹った白血病を再発しました。母の八重子さんは当時をこう振り返ります。

「どうにか貴子に生きてほしい思いでした。新聞の小さな記事で骨髄移植を知りました。当時、骨髄バンクはなかったので、兵庫県の医科大学でドナー適合検査をしましたが、家族は全員、不適合でした」

八重子さんはドナーを見つけるために奔走します。

「30～50人のHLAデータを東海大学が保管しているということを知り、関東まで行きました。しかし、ドナー適合する人はいませんでした」

昭和62年、貴子さんは名古屋の病院に転院することになりました。

骨髄バンクは私たちが作るしかない

八重子さんは骨髄移植がたくさんの人にできるよう、既に海外で取り組まれている骨髄バンクの設立を主治医に提案しました。

「私は社会の関心を高めるためにマスコミへ、夫はライオンズクラブへ呼びかけを始めました。厚生省（現在の厚生労働省）にも骨髄バンク設立を求める手紙を送りました」

予想に反して、当初、社会の反応は薄かったといいます。

「全身麻酔で、太い針を刺すリスクがあるからでしょう。厚生省からは、『ドナーのリスクが大きいので、骨髄バンクは作れません』と返信がありました」

八重子さんは、ほかの患者の家族や医療従事者、ライオンズクラブ、ボランティアとともに、骨髄バンクの設立に向けて動き出しました。

「骨髄バンクは、私たちが作るしかない」と決意を固めました。

日本骨髄バンクの設立へ

昭和63年、八重子さんたちの活動が実を結び、「名古屋骨髄・献血希望者を募る会（東海骨髄バンク）」が発足。日本初の骨髄ドナーの募集が始まりました。八重子さんは、新聞やテレビ、ラジオに取材依頼をもちかけ骨髄ドナー登録への協力を呼びかけました。

「福知山の人も率先して、名古屋までドナー登録に行ってくれました。結果、全国からドナーが1200名も集まり、55例もの移植実績ができたんです」

同年、55例の移植実績と、100万人分の骨髄バンク設立を求める署名を厚生省へ提出し、平成3年、ついに日本骨髄バンクが設立されました。

貴子さんの思いを胸に活動を続ける

娘の貴子さんは、平成元年、厚生省から骨髄バンク設立決定の手紙が届く前日に、13歳という若さで亡くなりました。

「貴子のため、たくさんの人があらゆる方法を模索してくれました。貴子の『自分以外の人も助けてほしい』という言葉は、今でも胸に残っています」

八重子さんは病気で苦しんでいる人を一人でも多く救いたいと願い、今も「NPO法人 献血と骨髄バンクの和を広げる会」の理事長として活動を続けています。

「毎年2人に1人は骨髄移植を受けられていますが、必要としている人全員に移植の機会があることが大切です。そのためには人種を超えて広く、多くの人に骨髄バンクへ協力してもらえたらと思います」

「NPO法人 献血と骨髄バンクの和を広げる会」の活動。献血会場で骨髄ドナー登録の協力を求める八重子さん

秋の夜長は献血しナイト
骨髄バンク推進イベント

献血・骨髄バンクの輪を広げる講演会

時　10月11日㈮　18時30分〜20時
所　ハピネスふくちやま
主催／福知山市献血推進協議会、日本赤十字社

佐藤遼さん

藤岡八重子さん

第1部　講　演

「白血病と骨髄移植を受けて」
講 佐藤遼（さとうはるか）さん（日東精工株式会社）
「想像力が、命を救う〜コーディネート現場から〜」
講 小川裕子（おがわゆうこ）さん（(公財)日本骨髄バンク）

第2部　パネルディスカッション

テーマ：献血・骨髄バンクの輪を広げるために
出演者：藤岡八重子（ふじおかやえこ）さん（NPO法人献血と骨髄バンクの和を広げる会理事長）、宮本行孝（みやもとゆきたか）さん（京都府赤十字血液センター福知山出張所所長）、佐藤遼（さとうはるか）さん、小川裕子（おがわゆうこ）さん

ナイト献血

昼間はなかなか献血できない皆さんにもご協力いただくため、ナイト献血をします。素敵な特典があります。

時　10月11日㈮　16時30分〜19時
　　（受付18時30分まで）
所　ハピネスふくちやま
内　400㎖献血を実施
他　骨髄バンクの登録もできます

福知山マラソン 骨髄バンク応援ランナーを募集

松井一矢さん

全国各地のマラソンで骨髄バンク応援ランナーとして走る松井一矢（まついかずや）さんと共に応援タスキを付けて走りませんか？

申し込みはこちら

時　11月23日(土・祝)
　　10時30分〜
所　三段池公園
他　各自のペースで走ります

献血と骨髄バンクの支援を広げる都市宣言

福知山市は、市民である藤岡八重子さんが、日本骨髄バンク設立に大きな役割を担われた経緯を踏まえ、令和2年に「献血と骨髄バンクの支援を広げる都市宣言」を行いました。

生涯を通じて、健康で生きがいのある生活を送ることは、誰もの望みです。

病気やけがなどで輸血や骨髄移植を必要とされる人が多くおられます。

一人ひとりの善意によって救われる命があります。

献血と骨髄バンクの支援の輪を大きく広げるとともに、共助の精神を次世代にも引き継いでいかなければなりません。

私たち市民は、市民憲章で謳う「共に幸せを生きる」まちづくりをめざし、健康と命を守るため献血と骨髄バンクの支援を広げていくことをここに宣言します。

令和2年9月10日

福知山市

生きがいとエネルギーと安心をつくる公民館
新設の桃映地域公民館が完成

従来の桃映地域公民館は、桃映地域体育館内に設置していたため、社会教育施設としての機能は限定的でした。

地域での生涯学習、人権、福祉、住民自治などの多機能を統合した新たな拠点施設として、令和5年度から新たに桃映地域公民館の建築を進めてきました。

新築された桃映地域公民館

新しい桃映地域公民館は、大正文化センターや地域住民センター、地域包括支援センターの機能が入り、持続可能な地域を支える拠点として運用が始まります。

問中央公民館（TEL 22-9551・FAX 24-4880）・**桃映地域公民館**（TEL 24-3502）

全館バリアフリーに配慮

部屋ごとの段差をできる限りなくし、全館バリアフリーに配慮しています。

段差のない玄関。ほかにも、館内エレベーターや多機能トイレ、授乳室を設置し、誰もが利用しやすい施設となりました。

太陽光で施設の消費電力をまかなう公民館

52枚の太陽光発電システムパネルを設置。太陽光で施設の電力をまかなうことができます。

整備した太陽光発電システムパネルは積雪2メートルに耐える強度を持ちます。光の反射を抑え、住環境にも配慮しています。

電気自動車から電力供給停電対策を強化

太陽光発電で得られた電力は蓄電池に貯蔵。さらに、電気自動車から電力を供給するV2B機器も設置。停電した時でも施設の電気を使えます。

整備したV2B機器。電気自動車への電力供給はもちろん、車から施設への電力供給もできます。

安全で専門性の高い授業環境を実現
全小学校の水泳授業を指導員が実施

温水プールを利用し専門指導員による水泳授業

全国的に、学校の屋外プールを使用した従来の小学校での水泳授業は、猛暑や天候不順による授業の中止や、施設の老朽化から安全で安定した運営が困難になっています。

一方で水泳授業は泳力の向上を図り、児童の命を守る力を育むために必要です。

このため、本市では屋内温水プールを利用した専門指導員による水泳授業を、令和4年度から段階的に実施し、本年度から全14小学校で民間委託を開始しました。

温水プールでの水泳授業の様子。専門指導員による授業を受けた児童の8割以上が「分かりやすかった」「泳ぐことが好きになった」と答えています。

屋内温水プールでの水泳授業は、令和6年5月から令和7年1月にかけて13校で実施、平成29年度にプールを建設した遷喬小学校は、指導員を派遣して授業を実施しています。

専門人材の活用により、児童の泳力の上達に加え、教職員が監視や評価に注力できるようになり、教育の質の向上を図っています。

問教育総務課（TEL 24-7061・FAX 24-4880）

温水プールまでの移動は、スクールバスと民間バスを併用。プールに近い昭和小学校は歩いてプールに行くため、気候が穏やかな時期に授業を行うなど、綿密なスケジュールを組んでいます。

大会の安全対策や改善点を議論

花火大会の検証会議を開催

8月29日㈭、本市は、福知山ＨＡＮＡＢＩ実行委員会が同月11日㈰に由良川河川敷で開催した花火大会の第3回となる検証会議を開催しました。

会議では、花火大会が安全に行われていたかどうかを、外部有識者や自治会、市内の子育て、経済の各種団体の代表者などの検証会議委員が振り返りました。

花火大会当日の周辺来場者数は約1万2千人だったことなどが報告され、安全対策や雑踏の状況など花火大会の評価について議論しました。

厚生会館で行われた検証会議では、堤防や有料席入場ゲート、御霊公園などでのスタッフの配置や安全対策、人混みの状況などについて、評価や改善点を話し合いました。

今後、検証会議は実行委員会からの報告や関係機関へのヒアリングなどを踏まえて検証を重ね、12月までに検証結果を取りまとめる予定です。

問**産業観光課**（TEL24-7076・FAX23-6537）

会議の内容は市ホームページで公開しています。下の二次元コードからもご覧いただけます。⇓

観光アクションプラン策定に向けて始動

福知山の観光誘客拡大をめざして

市民交流プラザふくちやまで、近畿運輸局観光部次長後藤孝之（ごとうたかゆき）さんが、全国の観光の状況と今後の動きについて講演。市内の観光関連事業者など約50人が参加しました。

本市は、**観光アクションプラン**策定に向け、**福知山観光誘客促進会議**を設置、9月2日㈪に趣旨説明や講演会などを開催しました。

今後、会議を中心に議論を重ね、令和6年内にアクションプランを策定する計画です。

問**産業観光課**（TEL24-7076・FAX23-6537）

2050年ゼロカーボンシティ実現に向けて

官民連携で脱炭素の地域づくり

市民交流プラザふくちやまで行われた第1回会議では、「脱炭素の取り組みは様々な人の協力なくては達成できません。ぜひ力を貸してください」と呼び掛けました。

本市は、市エネルギー・環境基本計画に基づき、2050年にCO_2排出量実質ゼロの**ゼロカーボンシティ**実現に向けて脱炭素化の取り組みを進めています。

市では計画を推進するためのプラットフォーム設立を見据えた準備会を設置。8月22日㈭に開催した第1回会議には、取り組みに呼応した市民や市民団体、事業者など31者が参加しました。

今後、準備会では「人生の重要なライフステージを脱炭素でおもしろくリノベーションする」をテーマに、生活、職場、学校、遊びなど様々な場面で脱炭素化のアイデアを議論し、事業化の可能性や必要性を検討していきます。

問**エネルギー・環境戦略課**（TEL48-9554・FAX23-6537）

自治会からの事前申請のうえご利用ください

共助による地域の除雪作業を支援

本市では、自治会で行った地域の除雪作業費を支援する**福知山市共助による市道除雪作業費補助金**制度を新たに設けました。

地域コミュニティ活動の維持や通学路の安全確保のために、自治会が主体となり、住民や事業者の共助で実施する除雪作業が対象となります。

利用には事前に自治会からの申請が必要です。制度の詳細や申請方法は市ホームページ（左記二次元コードからご覧いただけます）か、**道路河川課**（TEL24-7054・FAX23-6537）へお問い合わせください。

あなたが写っていたら、
写真（L 判）1 枚を差し上げます。
秘書広報課（TEL 24-7000）まで。

まちの話題 PHOTO NEWS

8/25 雨の中、夏の終わりの思い出に

やくの高原まつり、32回目の開催

夜久野高原芝生広場で「やくの高原まつり」が開催されました。ステージでは”冷やし中華始めました”でおなじみの特別ゲストAMEMIYA（アメミヤ）さんをはじめ、様々な団体が歌やダンスを披露しました。来場者の越後智之（えちごともゆき）さんは、「名物コーナー『スター誕生』に娘が出るので家族で応援に来ました。頑張ってほしいです！」と笑顔を見せていました。

9/7 福知山の救急機関が大集合！

救急フェスティバルで救急医療に親しみを

救急フェスティバルを消防防災センターで開催し、保健所や薬剤師会など多くの機関がブースを設置しました。オープニングでは、人気アニメの楽曲に合わせて子どもたちがカラーガード隊員と一緒にフラッグ演技を行いました。会場では、応急手当体験、救急車など緊急車両の見学などがあり、約600人の来場者を迎えました。

9/15 トンボ舞う秋の棚田で稲刈り

毛原の棚田「taikan」ツアー

毛原地区で稲刈りの体験イベントが開催されました。毛原の棚田はその景観と地域振興の取り組みから「つなぐ棚田遺産」に認定されています。参加者した小学２年生の大森洋太郎（おおもりようたろう）さんは、「刈る時の稲の持ち方、刃の向きを教えてもらいました。稲刈りは初めてだけど楽しいです」と、手際よく作業を進めていました。

9/15 伝統の和紙とネイルがコラボ

公立大生が和紙伝承館でワークショップ開催

大江町和紙伝承館で、学生団体DOKKO（ドッコ）が和紙を使用したネイルチップのワークショップを開催しました。参加した産屋敷美冬（うぶやしきみふゆ）さんは「ネイルと和紙を合わせるアイデアがおもしろい。かわいいネイルができました」と話しました。

完成した和紙ネイル

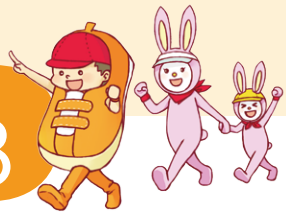
Follow me!

まちの情報、SNSでも発信しています

(旧Twitter)

note

健康になるための！
知っ得シリーズ Part 148



元気な体でいるために！運動で「健康貯金」をしよう！

年間５万人が運動不足により死亡している

運動不足は様々な病気のリスクであり、体力や筋力の低下につながります。その結果、動きたくても動けない体になってしまいます。また、筋力や体力は加齢によっても低下していくため、若いうちから未来のために「健康を貯金」する取り組みが大切です。

ちょい足し運動で「健康貯金」

いつもの運動に工夫を「ちょい足し」することで運動の効果を高めることができます。

大股で早く歩く！
膝もしっかり上げよう！

階段を
使おう！

ＴＶを見ながら足踏み！
ながら運動で時間も節約！

☆けんこウサギちゃんの「ちょこっとトレーニング」☆

膝痛を予防する体操

① 椅子の横を持ち、体を安定させる。
② 片膝が伸びるまで足を上げる。
③ 足をゆっくり下ろす。

つま先は天井に向けるのがポイント！

KENPOS 初！ チャレンジデー企画

愛媛県新居浜市 × 福知山市 × 長野県富士見町

Let's enjoy together♪

対戦期間　10月11日（金）～11月3日（日・祝）

◇期間中の平均歩数を競います。
◇KENPOS に登録し、歩数を連携（記録）している人は、自動的に参加になります。

12月集団健(検)診のお知らせ

予約制のため、事前にお申込みください。
定員になり次第締め切ります。

	実施日		場所	実施内容	送迎対象地域
①	12月6日㈮	午後	六人部地域公民館	セット健診	六人部エリア
③	12月9日㈪	午後	中央保健福祉センター	セット健診	

対象年齢や料金は「健康診査・がん検診のお知らせ（かわら版）」をご覧ください。複数の健（検）診を同時に受けられます。

＊セット健診：特定健診・後期高齢者健診・
胃部（ABC）検診・大腸がん検診・
胸部検診(肺/結核)・前立腺がん検診

ホームページはこちらから

ミニミニ健康講座のお知らせ！！

『すき間時間ながら体操』

自宅でできる簡単な体操をやってみよう！

日時：10月29日㈫　午前10時～10時30分
場所：ハピネスふくちやま２階

＊参加費無料、申込不要

10月17日～23日は「薬と健康の週間」

●「かかりつけ薬剤師・医局」、「お薬手帳」を活用しましょう。

●夢の健康食品はありません。無承認・無許可医薬品に注意しましょう。

申込・問合せ先　◎健康医療課（TEL 23-2788・FAX 23-5998）

令和7年度 幼稚園・保育園・認定こども園への入園申込受付を開始

問 子ども政策室（TEL24-7083・FAX23-7011）

教育認定枠

公立幼稚園・公立認定こども園

▶ **対象者**　保護者と子どもが市内在住の5歳児、4歳児、3歳児

▶ **受付期間**　11月1日（金）～8日（金）

▶ **提出先**　各公立幼稚園・公立認定こども園

(!) 預かり保育を実施しています

保護者の就労などの理由で、希望に応じて、教育時間終了後も引き続き園児を預かります。夏休み、冬休み、春休みの長期休業期間も、平日のみ預かり保育を実施します。

私立幼稚園・私立認定こども園

▶ **対象者**　5歳児、4歳児、3歳児

▶ **受付期間**　園によって異なる

※各園に備えている所定の申込用紙にご記入の上、園に直接お申し込みください。

▶ **提出先**　各私立幼稚園・私立認定こども園

保育認定枠

公私立保育園・公私立認定こども園・地域型保育施設

▶ **対象者**　令和7年4月～令和8年3月の間に新たに保育所へ入所を希望する児童

※令和6年度に入所申込をして保留となった人も再度申し込みが必要です。

※就労復帰の場合のみ未出生児の入所申し込みが可能です。

※市外の施設への入所を希望する場合は、施設が所在する自治体へお問い合わせください。

(!) 慣らし保育期間にご注意ください

保育園では、入所した日から2週間～1ヶ月程度の慣らし保育を行いますので、令和7年4月上旬から就労復帰予定の場合はご注意ください。3月に慣らし保育を希望する場合は、別途申し込みが必要です。ただし、入所調整の結果、令和7年4月以降の入所が決定している場合でも、3月からの入所ができないことがありますのでご了承ください。

▶ **受付期間**　11月19日（火）～29日（金）

※期間を過ぎた場合は4月からの入所はできません。

※上記期間をもって、今年度の途中入所の申込受付も終了します。

▶ **入所資格**　保護者や同居の親族の仕事や病気などの理由で保育の必要性がある小学校就学前の児童

▶ **必要書類**　①教育・保育給付認定申請書、②入所申込書、③就労証明書など保育の必要性を証明する書類、④補助票など

※子ども政策室または各支所窓口、各園で11月1日（金）から配布します。市ホームページからもダウンロードできます。

▶ **提出先**　子ども政策室窓口または各支所窓口相談係

広告

人生１００年時代　６０代からの楽しみ方!!　公益社団法人 福知山市シルバー人材センター

入会説明会

日　時
１０月２２日（火）
１１月　６日（水）
１１月１９日（火）
いずれも 午後1:30～3:00

場所　〒620-0051　福知山市昭和新町１６２番地
電話０７７３－２３－７６７７

自分のスタイルに
合わせた活躍の場
見つけてみませんか？

ふくちやま

★新規入会キャンペーン★ 初年度年会費 無料

※入会説明会参加ご希望の方は、事前にセンターまでご連絡ください。　【京都労働局委託事業】高齢者活躍人材確保育成事業

11月の子育て行事

ふくちやま子育て応援サイト→

＼ライン・Instagramで子育て情報配信中！／

なかよしひろば　三和子育て支援センター　TEL58-4580・FAX58-3005　時間：いずれも10時～11時30分

イベント	開催日	場所	定員	予約
● サーキット遊び	11月5日㈫	旧菟原保育園	なし	要
● 講座「お話を楽しもう」	11月12日㈫	旧菟原保育園	なし	要

申込みが多い場合は制限することがあります

ふれあいひろば　夜久野子育て支援センター　TEL37-1107・FAX37-0189　時間：いずれも10時～11時30分

イベント	開催日	場所	定員	予約
● ひよっこクラブ	11月7日㈭	夜久野子育て支援センタープレイルーム	なし	要
● 講座「はじめてアート」	11月21日㈭	夜久野子育て支援センタープレイルーム	なし	要

申込みが多い場合は制限することがあります

きらきらひろば　大江子育て支援センター　TEL・FAX56-0990　時間：いずれも10時～11時30分

イベント	開催日	場所	定員	予約
● 講座「交通安全教室」	11月8日㈮	大江子育て支援センタープレイルーム	なし	要
● 散歩に行こう	11月15日㈮	大江子育て支援センタープレイルーム	なし	要
● ほっこりタイム	11月22日㈮	大江子育て支援センタープレイルーム	なし	要

申込みが多い場合は制限することがあります

おひさまひろば　おひさまと風の子サロン　TEL23-5722・FAX45-6066

イベント	開催日	場所	備考
● ゼロから始める親子であそトレ（ふれあい編）	11月7日㈭	武道館柔道場	入場制限を行う場合があります

りとる ハピネス　りとる ハピネス　TEL090-5213-3228　時間：いずれも10時～11時30分

イベント	開催日	場所	定員	予約
● 親子で制作	11月11日㈪	りとる ハピネス	なし	不要
● 親子で制作	11月25日㈪	りとる ハピネス	なし	不要

参加が多い場合は制限することがあります

・予約開始日は行事カレンダーや市ホームページにも掲載しています。　・イベントに関するお問い合わせは、各ひろばへお願いします。

■その他の子育て支援に関するお問い合わせは**子ども政策室　子育てコンシェルジュ**（TEL24-7055・FAX23-7011）まで

対象者には随時案内と申請用紙を送付 児童手当の制度拡充について

問 子ども政策室（TEL24-7011・FAX23-7011）

▶ 拡充内容

①所得制限の撤廃

②支給対象児童の年齢を「高校生年代（18歳到達後の最初の年度末まで）」に延長

③第3子以降の支給額を月額3万円とし、第3子以降の算定に含める対象の年齢を「22歳年齢到達後の最初の年度末まで」に延長

④支給回数を年3回から年6回（偶数月）に変更（支払月の第1月曜日に支給）（4月は第2月曜日）

	現行		12月支給分より	
0～2歳	15,000円	※第3子以降15,000円	15,000円	※第3子以降30,000円
3歳～小学生	10,000円		10,000円	
中学生	10,000円		10,000円	
高校生	なし		10,000円	
	所得制限あり		所得制限なし	

▶ 新たに申請が必要な人

・高校生年代の児童を養育している方（中学生以下の子を養育しており、児童手当を現在受給している人は除く）

・中学生以下の児童を養育しているが、所得上限限度額を超過し、児童手当・特例給付を現在受給していない人

・現在児童手当を受給している方で、対象児童の「22歳年齢到達後の最初の年度末まで」の年齢の兄弟などについて監護に相当する世話等をし、その生計費を負担している人
（「監護相当・生計費の負担についての確認書」などの提出が必要になります。）

・施設等受給者（施設・里親など）である人で、委託などされている児童のうちに、高校生年代の児童がいる人

40歳以上の人が対象

肺がん・結核検診を実施します

問 健康医療課（TEL23-2788・FAX23-5998）

▶ 費用

無料（たんの検査が必要な場合は500円）

▶ 検診内容

・問診、検診車内での胸部エックス線撮影
・65歳以上の人は結核検診を含む

▶ 注意事項

・前回の胸部エックス線撮影から6か月以上の期間をあけてください。
・妊娠中、妊娠の可能性のある人は受けられません。
・予約制のため、事前に健康医療課へ申し込んでください。

申し込みはこちら

	会　場	時　間
10月30日（水）	大江支所前	8：45～9：15
	元伊勢観光センター	9：30～9：45
	南一公民館	10：05～10：20
	北陵地域公民館	10：50～11：10
	ふれあいの里福祉センター	13：05～13：20
	農業者トレーニングセンター	13：35～13：50
	金谷会館	14：10～14：25
	三岳会館	14：45～15：05
	牧公民館	15：30～16：10
11月27日（水）	上豊富会館	9：00～9：20
	かしの木台ホール	9：45～10：30
	竹毛希望の家	10：45～11：20
	佐賀会館	13：00～13：25
	観音寺公会堂	13：40～14：10
	旭が丘教育集会所	14：35～14：55
	ローソン福知山郵便局前店	15：20～16：15
11月28日（木）	東部保健福祉センター	9：00～9：20
	菟原中公民館	9：35～9：50
	川合集落センター	10：10～10：25
	上六人部会館	10：45～11：00
	中六人部会館	11：15～11：40
	下六人部会館	13：20～13：45
	南佳屋野会館	14：00～14：30
	堀会館	14：45～15：20
	中央保健福祉センター	15：30～16：15
12月9日（月）	中央保健福祉センター	15：30～15：45

今月のワンポイント手話

「健診に行こう」

単語：「体」「検査／調べる」「行く」

協力：森　弘子さん

体:伸ばした右手を胸から腹のあたりで円を描くように動かす。

※左右どちらの手で表現しても良い。

検査／調べる:右手の人差し指と中指を軽く曲げ、目の前に持っていく。その右手を左右に振る。

※左右どちらの手で表現しても良い。

行く:にぎった両手を胸の前から前方へ出す。この時、身体も手の動きにあわせて前方へ。

※自身がいる場から目的地（この場合、健診会場）に移動する様を表す。

見かけたら思いやりのある行動を

ヘルプマークを配布しています

▶ ヘルプマークとは

義足や人工関節を使用している人や、内部障害、難病の人、妊娠初期の人などが、周囲の人々に援助や配慮を必要としていることを知らせ、援助を得やすくなるよう作られたマークです。ヘルプマークを持っている人を見かけたら、電車・バス内で席をゆずる、困っているようであれば声をかけるなど、思いやりのある行動をお願いします。

ヘルプマークは、市役所や各支所窓口、保健所、児童相談所、北京都ジョブパークなどで無料配布しています。

▶ 問合先

・ヘルプマークの受け取りについて
障害者福祉課（TEL24-7017・FAX22-9073）
中丹西保健所（TEL22-5766・FAX22-4350）
・ヘルプマーク事業について
京都府障害者支援課（TEL075-414-5224・FAX075-414-4597）

国民健康保険・後期高齢者医療制度加入者が対象

無料で歯科健診が受けられます

歯周病や虫歯などは、糖尿病や心臓、呼吸器にかかる疾患、骨粗しょう症、認知症などを引き起こす原因の一つといわれます。また、高齢期になると老化などの影響によって「噛む」「飲み込む」「話す」などの口の機能が低下しやすくなります。お口の中をチェックして健康寿命を延ばしましょう。受診の際は、受診券に記載のある協力歯科医療機関に予約のうえ受診してください。

	国保歯科健診	後期高齢者歯科健診
対象	令和７年３月末時点で20・30・40・50・60・70歳の国民健康保険被保険者 ※ 受診時に国保資格がない場合は受診できません	75歳になる後期高齢者医療被保険者 ※ 施設に入所中の人は除く
費用	無料	
受診券	対象者に受診券（はがき）を送付	対象者に75歳の誕生日までに届く被保険者証に同封
期間	令和7年3月31日まで	受診券が届いた日から1年間
健診内容	■ 20歳・30歳・40歳・50歳・60歳 口腔内・歯周病検査、結果説明、指導 ■ 70歳 口腔内・嚥下機能検査、結果説明、指導	口腔内・嚥下機能検査、結果説明、指導
問合先	問 保険年金課　国保係 （TEL24-7015・FAX23-6537）	問 保険年金課　高齢者医療係 （TEL24-7018・FAX23-6537）

より多く老齢基礎年金を受けられる

国民年金「付加保険料」制度

問 舞鶴年金事務所（TEL0773-78-1165）・保険年金課（TEL24-7057・FAX23-6537）

付加保険料制度は、老後により多くの老齢基礎年金を受けたいと考える人のための制度です。

毎月の国民年金保険料（令和６年度は16,980円）に400円を上乗せして納付することで、納付月数×200円が65歳からの老齢基礎年金額に生涯加算されます。

例えば、10年間上乗せして納付した場合、付加保険料は総額で48,000円（12月×10年×400円）です。受取額は毎年24,000円（12月×10年×200円）加算されるので、年金受給後2年で、納付した保険料相当分の年金を受取ることができ、20年間年金を受給したとすると、総額で480,000円となり、432,000円の得となります。

ただし、付加保険料を納付できる人は、自営業者やその配偶者などの第１号被保険者のみです。また、保険料免除や納付猶予を受けている人、国民年金基金に加入している人は納付できません。

重度の障害のある人が対象

特別障害者手当などを支給

問 障害者福祉課（TEL24-7017・FAX22-9073）

特別障害者手当

▶ **対象者**　20歳以上で、重度の障害が2つ以上重複するなどにより、日常生活で常時特別な介護を必要とする在宅の人

▶ **支給額**　月額28,840円

障害児福祉手当

▶ **対象者**　20歳未満で、重度の障害のため日常生活で常時介護を必要とする在宅の人

▶ **支給額**　月額15,690円

申請に必要なもの

認定請求書・障害の程度についての医師の診断書・所得状況届など

※所得制限あり・障害の程度により非該当となる場合あり

令和6年4月1日から相続登記の申請が義務化 土地・建物の相続登記を

問 税務課（TEL24-7025・FAX23-6537）

▶ 相続登記の義務化とは

相続登記とは、亡くなった人が生前に所有していた土地・建物などの不動産の所有権を相続人に名義変更するための手続きです。

相続人は、不動産を相続で取得したことを知った日から3年以内に相続登記をすることが法律で義務付けられています。

相続登記の申請の義務化は、令和6年4月1日から始まりましたが、それ以前の相続でも、不動産の相続登記がされていないものは、義務化の対象になります。

正当な理由がないのに相続登記をしない場合、10万円以下の過料が科されることがあります。

▶ 相続登記を行わないと…

・売買、贈与などの所有権移転登記ができない
・ローン借入れなどの担保設定登記ができない
・円滑な所有権の移転が難しくなるおそれも
・相続関係が複雑になればなるほど、名義変更の手続きが困難に

▶ 相続登記の手続きを行うには

相続登記の手続きは、様々な書類の提出が必要です。相続や不動産登記についての専門知識が必要になるため、司法書士などの専門家に手続きを依頼する場合が多いようです。

自分で相続登記をする場合は、法務局にお問い合わせください。法務局での相談は予約制です。

▶ 相続登記の登録免許税の免税措置

税制改正により令和7年3月31日まで、土地の相続登記にかかる登録免許税が免除される場合があります。詳しくは法務局にお問い合わせください。

問 京都地方法務局福知山支局（TEL22-3043）

▶ 早めに相続登記の手続きを

固定資産税の納税通知書は、毎年1月1日現在の登記名義人に送付しています。登記名義人が亡くなっている場合は、相続人に「相続人代表者指定（変更）届出書」を提出していただき、一定期間は相続人代表者に送付しています。速やかに相続登記の手続きをしなかった場合、様々な問題が発生します。トラブルを防ぐためにも、早めの相続登記をお勧めします。

民事や家事のもめごと 無料調停相談を実施

問 京都家庭裁判所福知山支部、福知山簡易裁判所（TEL22-2209）

（公財）日本調停協会連合会が無料の調停相談を実施します。交通事故・土地建物・売買・金銭・近隣関係などの民事調停手続き、家庭関係・遺産分割などの家事調停手続きの相談ができます。

時 11月18日（月）10時～12時・13時～16時

所 市民交流プラザふくちやま

シリーズ人権

～一緒に考えてみませんか～ 多文化共生のまちづくり

近年、グローバル化の進展に伴い、福知山市では、外国籍の市民が増加しています。多様なルーツを持つ人々が共に幸せを生きるために、互いの違いについて理解を深め、尊重し暮らすことができる「多文化共生」のまちづくりを推進することが重要です。

本市では、多文化共生の推進に向けた取り組みをさらに進めるため、「福知山の変」その八の発表に合わせ、「Hello! ハロハロプロジェクト」を始動しました。セミナーや勉強会などの詳細は随時ホームページでお知らせします。皆さんも一緒に多文化共生について考えてみませんか。

7月2日（火）、Hello! ハロハロプロジェクトを始動。

問 まちづくり推進課（TEL24-9174・FAX23-6537）

イベント・催し

三段池RAVI HOUSE 植物園のイベント

TEL22-6617・FAX22-6629

■11月の植物観察会

時 11月9日(土)
9時30分～11時30分
内 市自然科学協力員といろいろな木々の紅葉を観察。
申 11月7日(木)までに電話またはファクスで

■菊花展

時 10月26日(土)～11月10日(日)
9時～17時
内 豪華な大菊の三本仕立て、小懸崖、福助、盆栽などの菊を展示。
共催／福知山菊花同好会

■庭木の剪定講習会

時 11月3日(日)・(祝)
9時30分～15時
内 松の剪定を中心とした講義と実習。
講 京極春樹さん(樹木医)
費 500円(資料代など)
定 20人(先着順)
申 10月13日(日)から電話またはファクスで

産業フェア

時 10月12日(土)～13日(日)
9時30分～16時
所 三段池公園総合体育館周辺
内 展示即売・飲食グルメゾーン、モーターショーなど
問 福知山産業フェア実行委員会(TEL22-2108・FAX23-6530)

障害者対象合同就職面接会

時 10月28日(月)13時～16時
所 市民交流プラザふくちやま
内 府内の事業所が参加する合同就職面接会
持 履歴書・あれば障害者手帳
他 要予約、手話・要約筆記あり
申 株式会社アイシーエル一体的実施事業事務局(TEL075-708-7886・FAX075-708-7856)

京都ジョブ博「福知山・綾部合同就職フェア」

時 11月12日(火)
13時30分～15時30分
所 厚生会館
内 福知山・綾部地域の企業が集まる合同企業説明会
問 産業観光課(TEL24-7075・FAX23-6537)へ

「いのち」のワークショップ

時 11月3日(日)13時～16時
所 市民交流プラザふくちやま
内 「いのち」についてカフェのようにリラックスしながら語り合うワークショップ
講 丸谷香(まるたにかおり)さん(福知山公立大学カウンセラー)・星雅丈(ほしまさたけ)さん(福知山公立大学准教授)
対 30代以下の市内在住・在勤・在学の人
定 20人(先着順)
申 10月27日(日)までに二次元コードまたは社会福祉課(TEL24-7094・FAX22-6610)へ

福知山市市民憲章推進大会

時 11月9日(土)13時～16時
所 厚生会館
テ 「次代を担う若者の活動にエールを」
内 「ツインクル賞」「写真コンテスト」表彰・高校生による演奏・活動発表・展示など
申 福知山市市民憲章推進協議会事務局(TEL24-9174・FAX23-6537)

Farmers Tables

-地域と人と美味しい暮らし-

問 産業観光課(TEL24-7076・FAX23-6537)

イベント詳細はこちら

令和6年7月27日(土)に大阪・中津で実施したFarmers Tables(ファーマーズテーブルズ)の様子。11店舗が参加した。

10.26(土) Farmers Tables in 中津

11:00 – 18:00 ※荒天などの場合は中止
所 西田ビル周辺(大阪市北区中津3丁目10-4)

11.2(土).3(日・祝) Farmers Tables FUKUCHIYAMA EKIKITA

11:00 – 16:00 ※荒天などの場合は中止
所 福知山駅北口公園、福知山駅正面通り商店街

福知山線 舞鶴線 全線開業120周年 フクレル1周年記念イベント

問 産業観光課(TEL24-7077・FAX23-6537)

福知山鉄道フェスティバル

時 10月14日(月・祝)　10時~15時
所 福知山鉄道館フクレル、ゆらのガーデン
内 シャボン玉パフォーマンス、関西の人気駅弁販売、子ども向け体験ブースなど

福知山線・舞鶴線全通120周年記念イベント

時 11月3日(日・祝)　10時～15時
所 福知山鉄道館フクレル、ゆらのガーデン、JR福知山駅構内、駅正面通り商店街
内 フクレル入館無料、オリジナルフレーム切手の販売、鉄道模型電動力一乗車体験、ミニSL乗車体験など

イベント詳細はこちら

令和5年度 人権と平和に関する標語 応募作品より

差しのべよう　困っている人　助けよう　　六人部小学校　6年生

福知山市学校保健研究大会

時 10月17日㈭14時～
所 ハピネスふくちやま
テ 「健康で安全に生きぬく力を持つ子どもの育成」～家庭・地域・学校が共に考える～
内 養護研究部の研究発表「保健室から伝えたいこと～ともに見守り育てること～」・講演「ゼロから始めるネット依存との関わり方のコツ」和田慶太（わだけいた）医師（兵庫県立ひょうごこころの医療センター　精神科医長）
申 学校教育課（TEL 24-7063・FAX 24-4880）

三和ふれあいフェスティバル

時 11月10日㈰10時～15時（展示は11月9日㈯13時～16時も実施）
所 三和荘
内 作品展示、ステージ発表、農林産物品評会、模擬店など
問 三和支所（TEL 58-3003・FAX 58-3013）

町屋で水墨画展

時 10月3日㈭～11月4日㈪・㈷
所 治水記念館
内 水墨画のコントラストの繊細さや迫力を町屋の雰囲気と共に堪能してください。
問 治水記念館（TEL 22-4200）

大自然の中で運動と食事 アクティブライフプラン

時 ①昼食プラン：11月6日㈬10時30分～15時
②朝食プラン：11月14日㈭6時～11時30分
所 大江山グリーンロッジ
内 鬼を巡る大自然ウォーキング、フィットネスレッスン、管理栄養士考案メニュー実食
①昼食（一汁六菜彩りランチ）・おやつ（ベジスイーツ）
②朝食（秋のにぎわい朝ごはん）・軽食（ヘルシーアフタヌーンティーより）・雲海鑑賞
定 各15人
費 1000円
他 KENPOSポイント付与
問 ①10月25日㈮まで・②11月1日㈮までに健康医療課（TEL 23-2788・FAX 23-5998）

平成16年台風第23号から20年を振り返る

時 10月20日㈭10時～16時（毎正時スタート・1回60分）
所 治水記念館
内 平成16年台風第23号パネル展・浸水シミュレーション操作体験・福知山のお茶と銘菓を楽しむ施設見学会
申 二次元コードもしくは福知山河川国道事務所流域治水課（TEL 22-5104・FAX 23-6741）

ふれあいのつどい ～福知山会場～

時 11月3日㈰・㈷13時～15時30分
所 市民交流プラザふくちやま
内 ①地域の眼科医による講演「補装具」「日常生活用具」ってナニ？②視覚障害のある人に便利な道具のミニ展示会
対 目が見えない・見えにくい人、その家族
主催／京都府
問 福知山市視覚障害者協会 高見眞由美（TEL 090-4031-0068）

講座・教室

医師の健康教室

時 10月23日㈬13時30分～15時
所 ハピネスふくちやま
内 かかってから後悔する前に！～帯状疱疹について知りましょう～
講 井上和之（いのうえかずゆき）さん（いのうえ皮フ科クリニック）
他 KENPOSポイント付与
問 健康医療課（TEL 23-2788・FAX 23-5998）

認知症サポーター養成講座

内 「認知症とは何か」「認知症の人にどのように接したらいいのか」などを学ぶ。

日　程	場　所	定員	申込・問合先	申　込
10月24日㈭ 18時～19時30分	夜久野ふれあいプラザ	20人	夜久野地域包括支援センター（TEL 37-1108・FAX 37-5002）	
11月27日㈬ 13時30分～15時	成和地域公民館	20人	成和地域包括支援センター（TEL・FAX 45-3906）	
12月4日㈬ 13時30分～15時	六人部地域公民館	20人	六人部地域包括支援センター（TEL・FAX 45-3905）	

期 各講座の前日まで
他 受講後、認知症サポーターの証、オレンジリングを渡します。

広告
新　築 | リフォーム | 不動産
ARCHI homelife KYOTO
〒620-0062 京都府福知山市和久市町123 ☎ 0120-49-0358
〒620-0061 京都府福知山市荒河東町107番地 ☎ 0120-489-600
アーキホームライフ

広告
●正しい不動産の取引 ●宅地・建物・賃貸借問題など
不動産無料相談
北部不動産無料相談所
綾部市駅前通２３（京都銀行様西となり）JR綾部駅前から徒歩２分
相談日：毎月第１・第３金曜日　相談時間：午後１時～３時30分
※祝日及び休業日を除く
☎0773-40-2535（予約制）
公益社団法人 京都府宅地建物取引業協会
公益社団法人 全国宅地建物取引業保証協会京都本部

令和5年度 人権と平和に関する標語 応募作品より
何げない　ただの日常　それが幸せ　　**庵我小学校　6年生**

家族が学ぶ認知症のこと 連続講座

時10月31日㈭
13時30分～14時30分
所市民交流プラザふくちやま
テ「介護・福祉サービスを利用しよう」・認知症カフェも同時開催（お茶代100円）・講座後には家族交流会を開催
対初期から中期の認知症の人を在宅介護している人、認知症のことに興味がある人
申10月25日㈮までに地域包括ケア推進課（TEL24-7073・FAX22-9073）へ

人生の寺子屋 ～最期の日のわたしへ～

市内の医師・福祉関係者の看取りの寸劇を通して、人生を最期まで自分らしく過ごすためのこれからの生き方を一緒に考えてみませんか
時①11月16日㈯13時30分～15時30分・②12月7日㈯13時30分～15時30分
所①三和荘・②桃映地域公民館
申各講座の前日までに二次元コードもしくは地域包括ケア推進課（TEL24-7073・FAX22-9073）へ

親子手話教室

時11月2日㈯
13時30分～15時30分
所総合福祉会館
内①聞こえないってどういうこと？・②みんなで手話を学ぼう・③手話を交えたレクリエーション
対市内在住・在学の小中学生親子（小学生は保護者同伴）
定40人程度
主催／手話広めたい話し隊
申10月28日㈪までに電話・ファクス・メールで社会福祉協議会（TEL25-3211・FAX24-5282・✉fuku-shakyo@coral.broba.cc）へ

在宅障害者デイ・サービス事業 視覚障害者ICT講座

時12月3日㈫10時～11時30分（iPhone）・13時～14時30分（Android）
所総合福祉会館
内視覚に障害のある人のためのスマートフォンの操作方法や機能を知る講座
講社会福祉法人 京都ライトハウス 青木一憲（あおきかずのり）さん
対視覚障害のある人とその家族、ガイドヘルパー（同行援護登録事業所の支援員）
持スマートフォン
定各回5名ずつ（抽選制）
申11月19日㈫17時までに氏名・住所・年齢・電話番号・同行者の有無を電話・ファクス・メールで障害者福祉課（TEL24-7017・FAX22-9073）へ

在宅障害者デイ・サービス事業 視覚障害者歩行訓練講座

時11月7日㈭9時30分～11時
所福知山駅
内視覚障害のある人が白杖を使用して、安心して外出ができるようになるための講座
講社会福祉法人 京都ライトハウス 歩行訓練士
対視覚障害のある人とその家族、ガイドヘルパー（同行援護登録事業所の支援員）
持白杖（視覚障害のある人のみ）
申10月25日㈮17時までに氏名・住所・年齢・電話番号・同行者の有無を電話・ファクス・メールで障害者福祉課（TEL24-7017・FAX22-9073）へ

募集

「二十歳の主張」を募集

1月12日㈰に開催予定の「令和7年福知山市二十歳（はたち）を祝う会」で決意などを発表する人を募集します。
所三段池公園総合体育館
対平成16年4月2日～平成17年4月1日に生まれた人
テ「二十歳になった決意」「ふるさと福知山に思うこと」など
発表時間／1人5分程度（400字詰原稿3枚程度）
申11月15日㈮までに住所・氏名・電話番号を明記し原稿を郵送またはメールで生涯学習課（TEL24-7064・FAX24-4880・✉syougai）へ

昭和新町月極駐車場 契約者の募集

所昭和新町226番地ほか（公益社団法人福知山市シルバー人材センター向かいの土地）
他貸出数／10区画
賃料／月4950円（税込）
問産業観光課（TEL24-7075・FAX23-6537）

その他

困ったら一人で悩まず行政相談

10月は行政相月間です。行政相談は、行政機関などの仕事やサービスについて、お困りのことを行政相談委員が聞き取り、解決や実現の促進、行政運営の改善につなげる仕組みです。
本市では、毎月行政相談を開催しています。詳しくは23ページをご覧ください。
問市民課（TEL24-7027・FAX23-6537）

浄化槽の修繕費を補助

合併浄化槽の機能維持のための緊急修繕に対して補助金を支給します。
内浄化槽躯体や槽内仕切板の補修などにかかった経費の2分の1の額（上限3万円、100円未満切り捨て）を支給
対前年度に浄化槽維持管理事業補助金の交付を受けた人
問経営総務課（TEL22-6503・FAX22-6555）

＼糖尿病に気を付けましょう／

11月14日は ワールド ダイアベティス デー World Diabetes Day（旧世界糖尿病デー）

糖尿病の予防、治療、療養喚起のため、福知山城をシンボルカラーのブルーにライトアップします。
時11月14日㈭日没～22時
問健康医療課（TEL23-2788・FAX23-5998）

※Diabetes…糖尿病

令和5年度 人権と平和に関する標語 応募作品より
すてきだね　いろんなかんがえ　いろんなちがい　大正小学校　1年生

10月は京都府くらしの安心・安全推進月間

令和4年4月の成年年齢引き下げにより、若者からのトラブルの相談が増えています。

困ったときは、一人で悩まずに相談してください。自身の問題解決だけでなく、次の被害の未然防止にもつながります。

通信販売やSMSを利用した悪質商法やSNS型投資詐欺、ロマンス詐欺などのトラブルの相談も後を絶ちません。ご注意ください。

■トラブルの例

・ネット通販でお試しのつもりが定期購入だった
・注文した覚えのない商品が届いた（送り付け商法）
・SMSやハガキなどで利用した覚えのない代金を請求された（架空請求）
・知らない間に子どもが、オンラインゲームに課金していた
・断り切れなかった電話勧誘

問市消費生活センター（市民課内TEL24-7020・FAX23-6537）・消費者ホットライン（TEL188）・福知山警察署（TEL22-0110）

10月は食品ロス削減月間

「食品ロス」とは、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品のこと。日本では、年間約472万トンの食品ロスが発生しています。これは、世界各国で飢えに苦しむ人々への食料援助分の480万トンとほぼ同じ量です。国民1人あたりに換算すると毎日お茶碗1杯分の食べ物を捨てていることになります。

できることから食品ロスの削減に取り組み、「もったいない」を減らしましょう。

■買い物のとき

・買い物前に冷蔵庫や食品庫にある食材を確認する
・使う分、食べきれる量だけ買う
・利用予定と照らして期限表示を確認する

■家での調理・保存のとき

・食べられる分だけ調理する
・食材に合わせた保存方法で食材の無駄をなくす
・食材の整理整頓を心がけ、期限切れになる前に使う
・残っている食材から使うようにし、作り過ぎて残った料理は、リメイクレシピで工夫する

■外食するとき

・食べきれる分だけ注文する
・料理の量を選べるなど、食品ロス削減に積極的に取り組む店を選ぶ

問市消費生活センター（市民課内TEL24-7020・FAX23-6537）・消費者ホットライン（TEL188）

全国地域安全運動

10月11日から20日までは「全国地域安全運動」の期間です。日頃から防犯意識を持ち、できることから取り組みましょう。

自転車盗難の被害が多発しています。また、市役所の職員を騙り、保険料などを還付するといった不審電話がかかってくる事案がありますので、十分注意してください。不審な電話や訪問は一人で対応せず、家族や警察に相談しましょう。

■特殊詐欺被害防止対策

「電話で現金 それは詐欺」

・官公署や金融機関の職員を名乗る電話であっても、「還付金」「ATM」「キャッシュカード」「暗証番号」「振り込み」が出てきたら電話を切り、警察に相談する
・通話内容を自動で録音できる装置の取り付けや防犯機能付電話機の設置をする
・子どもや孫から「電話番号が変わった」と電話があれば、自分の知っている番号にかけて確認する
・身に覚えのない請求は家族や消費生活センターに相談する

■自転車盗難被害防止対策

・数分でも自転車から離れるときは、鍵をかける
・ワイヤー錠などを活用し、複数の鍵をかける「2（ツー）ロック」を心がける

問生活安全推進協議会事務局（市民課TEL24-7020　FAX23-6537）・福知山警察署（TEL22-0110）・消費者ホットライン（TEL188）

京都府最低賃金引き上げ

京都府最低賃金は、10月1日から時間額1058円です。（50円引き上げ）

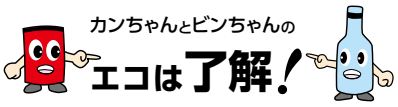
問京都労働賃金室（TEL075-241-3215）

給湯器、壊れてからだと大変！ もしかして設置から10年程度経っていませんか？
関西電力 power with heart 広告

ガス・石油給湯器の取替えの目安は
約10年※と言われています。
※出典：一般社団法人 日本ガス石油機器工業会 ホームページ

給湯器が壊れてからの取替えは取寄せに時間がかかり、
すぐにお湯が使えないことがあります。

＼早めの検討でトラブル回避！／
省エネ電気給湯機「エコキュート」にしませんか？
取替えのご相談は、下記まで
関西電力株式会社 福知山営業所
TEL.0773-22-3155
（受付時間）平日9:00～12:00、13:00～17:00 ※土日祝・年末年始（12/29～1/3）除く



今月のテーマ 「植木鉢やプランターの土の処分はどうすればいいの？」の巻

問生活環境課（TEL22-1827・FAX22-4881）

カンちゃん 枯れた植木鉢やプランターの手入れを始めたんや。処分したいんやけど、どうしたらええんかなあ？

ビンちゃん 草や木くずなんかは、土を取り除いて、燃やすごみの専用指定袋で地域のごみステーションに出したらええんやで。

カンちゃん 植木鉢やプランターの残った土は処分はどうしたらええんや？

ビンちゃん 土はごみやないから、自然に返して欲しいんや。
あと買った土は販売店か購入店に問い合わせてほしいんや。

カンちゃん わかった。

ビンちゃん ごみでも環境パークへ持ち込めるものとそうでないもんがあるから、協力して欲しいんや。

カンちゃん 了解！

11月 リサイクルプラザ体験教室

時 各教室とも13時～15時
所 環境パーク・リサイクルプラザ
申 10月17日㈭8時30分から各教室の前日までに生活環境課へ
問 生活環境課（TEL22-1827・FAX22-4881）

開催日	教室名	内容	募集人数（先着）	受講料
1日㈮	布教室 エコバッグを作ろう	小さく折りたたむことができるエコバッグを作ります。（まち付 縦約38cm 幅約32cm）※ミシンを使います。	6人	300円（税込）
7日㈭	牛乳パック教室 座椅子（大）を作ろう	牛乳パックと布を使って、座り心地の良い座椅子（大）を作ります。※ミシンを使います。	6人	300円（税込）
11日㈪	ガラス教室 クリスマス用のガラスリースを作ろう	板ガラスを使って、クリスマスリースを作ります。※電気炉を使います。※引き取りは翌日以降となります。	4人	300円（税込）
13日㈬	布教室 ホームウェアー（袖なし）を作ろう	布地を使って、素敵なホームウェアー（袖なし）を作ります。※ミシンを使います。	6人	300円（税込）
15日㈮	布教室 ベスト（前開き）を作ろう	オリジナルのすてきなベスト（前開き）を作ります。※ミシンを使います。	6人	300円（税込）
21日㈭	布教室 帯地でクリスマス用のタペストリーを作ろう	帯地を使って、タペストリー（クリスマス用）を作ります。	6人	300円（税込）
25日㈪	布教室 帯地バッグを作ろう	帯地でバッグ（まち付き）を作ります。（幅約30cm縦約32cm）※ミシンを使います。	6人	300円（税込）
27日㈬	布教室 保温カバー（鍋用）を作ろう	保温性がある布で、鍋などを包むことができるカバーを作ります。※ミシンを使います。	6人	300円（税込）

※お電話で申込みが難しい方につきましては、直接、環境パークでの受付をお願いします。
※申込は一世帯につき1人まで　※中学生以下は要保護者同伴　※団体での申込も可能（日程・内容等は協議）

納付のお知らせ

納期限日 10月31日（木）

◇国民健康保険料・介護保険料5期（普通徴収）
保険年金課国保係（TEL24-7019）
高齢者福祉課介護保険係（TEL24-7013）
◇後期高齢者医療保険料4期（普通徴収）
保険年金課高齢者医療係（TEL24-7018）
◇市府民税3期（普通徴収）
税務課市民税係（TEL24-7024）
代表ファクス（FAX23-6537）

8月末現在の人口・世帯数

人　口 **74,628人**（前年同月比　-799）

世帯数 **36,866世帯**（前年同月比　+70）

15歳未満	9,421人（12.62%）
15～64歳	42,429人（56.85%）
65歳以上	22,778人（30.52%）
（75歳以上	13,408人（17.97%））

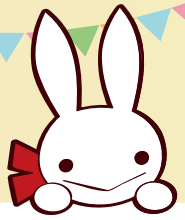
※最新の人口・世帯数は市ホームページで公開しています。

LINE公式アカウントで福知山の情報を配信中！

福知山市の LINE 公式アカウントでイベント情報などを配信しています。
ともだち追加はこちらから

休日当番医（11月）

内科・小児科	休日急患診療所（北本町二区 TEL22-4128）	9:00～12:00 13:30～17:30	3日（日・祝）	4日（月・振替）	10日（日）	17日（日）	23日（土・祝）	24日（日）
	※休日急患診療所開設日の18:00～24:00は、当番医療機関が診療を行っています。詳細は、休日急患診療所（TEL22-4128）または消防署（TEL22-0119）まで。							
外科	福知山市民病院（厚中問屋町 TEL22-2101）	0:00～24:00		4日（月・振替）		17日（日）		24日（日）
	京都ルネス病院（西本町 TEL22-3550）	0:00～24:00	3日（日・祝）		10日（日）		23日（土・祝）	



ミミちゃんとコロちゃんの 図書館情報局

読書の秋は図書館でイベントを楽しもう！

わくわくスタディ！「星空」編

と　き　11月9日(土) 10:30～12:00
ところ　三和支所2階　研修室
対　象　小学生以上(小学生は保護者同伴)
内　容　自然科学協力員さんによるお話と望遠鏡づくり
材料費　600円
申込開始日　10月25日(金)10:00～
定　員　10組程度

図書館フォトコンテスト締切間近！

開館100周年を記念して開催中のフォトコンテストは、10月31日(木)まで！
優秀賞に選ばれた方にはオリジナルステンレスボトルを差し上げます。
ぜひご応募ください！

大好評の100&10周年記念デザインです。

10月のおすすめ図書

展示テーマ **秋を楽しむ**

いもくりなんきん、ときどきあんこ

ジャンル＝料理
著＝中川　たま（文化学園文化出版局）

旬を迎えたさつまいも、栗、かぼちゃ、あずき。少ない材料で素朴な味を楽しむお菓子のレシピ本。

秋の樹木図鑑

ジャンル＝樹木
著＝林　将之（廣済堂出版）

紅葉・実・どんぐりなど、秋ならではの特徴で木がわかる樹木図鑑。秋の自然を探しに行きませんか?

11月のイベント

図書館のイベントはこちら！
イベント　講座

ところ	行事名	とき	対象	内容	申込開始日
中央館	えほんのへや【めばえクラス】	7日(木) 10:30～	4か月児～8か月児	絵本の読みきかせ・わらべうたなど(15分程度)	予約不要
	えほんのへや【わかばクラス】	7日(木) 11:00～	9か月児～1歳6か月児		
	大人のおはなし会	17日(日) 13:30～	どなたでも	大人向けのおはなし会	
	おはなしのひろば	20日(水) 10:30～	1歳6か月児～	絵本の読みきかせ(15分程度)	
	谷口智則さん読みきかせ＆ライブペインティング	3日(日)・祝 13:30～	3歳～小学生とその保護者	絵本作家の谷口智則さんによる読みきかせとライブペインティング	受付終了 抽選結果は10月上旬に図書館ホームページで発表
三和分館	わくわくスタディ！「星空」編	9日(土) 10:30～	小学生以上(小学生は保護者同伴)	自然科学協力員さんによるお話と望遠鏡づくり(材料費:600円)	10月25日(金) 10:00～ 10組程度
夜久野分館	おはなし会	13日(水) 10:30～	乳幼児とその保護者	絵本の読みきかせ、ふれあいあそびなど	10月30日(水) 10:00～
	おはなしのへや	24日(日) 10:30～	幼児～小学生	絵本の読みきかせなど	予約不要
大江分館	大江子育て支援センター「ほっこりタイム」	22日(金) 10:20～	乳幼児とその保護者	絵本の読みきかせ、ふれあいあそびなど	申込・問合せ 大江子育て支援センター(P.13)

※内容は予定です。変更になる場合もあります。詳しくは、図書館までおたずねください。

連絡先
◆中　央　館　TEL:22-3225　FAX :22-7118
◆夜久野分館　TEL 兼 FAX :37-1066
◆三 和 分 館　TEL:58-4715　FAX :58-4716
◆大 江 分 館　TEL 兼 FAX :56-1017

11月・相談あんない

※いずれも無料・秘密厳守。特記した相談以外は、事前の申し込みは不要です。
※申込日が祝日の場合は、その前日まで。

区分	相談	日（曜日）	時間	場所	問い合わせ先
人権	人権相談	25日(月)	13:00～16:00	市民相談室	人権推進室 TEL24-7022 FAX23-6537
	心配ごと相談	11日(月)	9:00～12:00	大江町総合会館	
		15日(金)		三和支所	
		20日(水)		夜久野ふれあいプラザ	
	女性相談	9日(土)・21日(木)	13:00～16:00	男女共同参画センター	
		※前日までに要予約。先着3人。一人1時間。			
	女性の弁護士による女性法律相談	27日(水)	13:00～16:00		
		※前日までに要予約。先着4人(初めての人を優先)。一人45分。			
	男性のための電話相談	13日(水)	17:30～19:00		
		※前日までに要予約。一人30分。		電話相談	
健康	定例健康相談 栄養相談	12日(火)	13:30～15:30	㊞・㊐北部保健福祉センター TEL56-1106 FAX56-2018	
		13日(水)		㊞・㊐東部保健福祉センター TEL58-3010 FAX58-3013	
		19日(火)		㊞・㊐西部保健福祉センター TEL37-1108 FAX37-5002	
		26日(火)	9:30～11:00	㊞・㊐中央保健福祉センター TEL23-2788 FAX23-5998	
		栄養相談は要予約／当日までに、電話・FAXまたは直接各保健福祉センターまで			
	きこえの相談会	22日(金)	13:00～15:30	三和支所	市聴覚言語障害センター TEL45-3025 FAX24-4459
		要予約／前週金曜日までに電話・FAXで市聴覚言語障害センターまで（予約優先／当日来所可）			
福祉	身体障害者相談	3日(日・祝)	13:00～15:00	総合福祉会館	障害者福祉課 TEL24-7017 FAX22-9073
	身体障害者巡回相談	28日(木)	13:00～15:00		
		要予約／前週木曜日までに、電話・FAX、または直接障害者福祉課まで			
	精神障害者相談	13日(水)・27日(水)	電話・直接相談 13:00～16:00	電話相談090-6911-7099 人権ふれあいセンター堀会館	障害者福祉課 TEL24-7017 FAX22-9073
	ふれあい福祉相談	1日(金)	13:00～16:00	総合福祉会館	㊎本　所 TEL25-3211 FAX24-5282
				三和支所	㊎三和支所 TEL58-3713 FAX58-3732
				ふれあいの里福祉センター	㊎夜久野支所 TEL38-1200 FAX38-1230
				北部保健福祉センター	㊎大江支所 TEL56-0224 FAX56-1654
	年金相談	7日(木)	10:15～15:45	市民相談室	舞鶴年金事務所 TEL0773-78-1165
		要予約／電話で舞鶴年金事務所（予約専用TEL0773-76-5772）まで			
		月～金(祝日を除く)	8:30～16:00	舞鶴年金事務所	舞鶴年金事務所 TEL0773-78-1165
		要予約／電話で日本年金機構ナビダイヤル（予約専用TEL0570-05-4890）まで			
子育て	親と子の健康相談	13日(水)	10:00～11:00	大江支所内・大江子育て支援センター	子ども政策室 TEL24-7055 FAX23-7011
	子育て総合相談窓口	月～金(祝日を除く)	8:30～17:15	ハピネスふくちやま	
	子ども教育相談	月～金(祝日を除く)	9:00～16:00	㊞・㊐教育相談室 TEL24-3749 FAX24-5135	
くらし	生活としごとの総合相談	月～金(祝日を除く)	8:30～17:00	生活としごとの相談窓口	社会福祉課 TEL24-7094 FAX22-6610
	消費生活相談	月～金(祝日を除く)	9:00～16:00	消費生活センター	市　民　課 TEL24-7020 FAX23-6537
	ねこに関する相談	月～金(祝日を除く)	8:35～17:15	㊞・㊐生活環境課 TEL22-1827または京都府中丹西保健所 TEL22-6382	
	農地・農政相談	11日(月)	9:00～12:00	各支所・京都丹の国農協の各支店ほか	農業委員会 TEL24-7046 FAX23-6537
	建築無料相談 ※2日前までに要予約	15日(金)	13:30～15:30	市民相談室	建築住宅課 TEL24-7053 FAX23-6537
	税務相談	20日(水)	13:00～16:00	市民相談室	市民相談室 TEL24-7027 FAX23-6537
	交通事故巡回相談	14日(木)・28日(木)	9:00～16:30	㊞・㊐京都府福知山地域総務防災課 TEL22-3901 FAX23-8242	
	犯罪被害電話相談	月・木(祝日を除く)	12:00～16:00	㊞・㊐京都犯罪被害者支援センターほくぶ相談室 TEL0120-78-3974	
	ひきこもり相談 ※要事前予約	月・金(祝日を除く)	9:00～17:00	NPO法人ニュートラル	NPO法人ニュートラル TEL090-7363-8530
行政・法律	行政相談	11日(月)	9:00～12:00	大江町総合会館	大 江 支 所 TEL56-1101 FAX56-2018
		15日(金)		三和支所	三 和 支 所 TEL58-3001 FAX58-3013
		20日(水)		夜久野ふれあいプラザ	夜久野支所 TEL37-1101 FAX37-5002
		27日(水)	13:00～16:00	市民相談室	市民相談室 TEL24-7027 FAX23-6537
	司法書士法律・登記相談	14日(木)	13:00～16:00	市民相談室	市民相談室 TEL24-7027 FAX23-6537
	行政書士相談	28日(木)			
	弁護士法律相談	29日(金)	12:30～16:30		
		要事前申込／前週木曜日までに市民相談室に直接、電話、FAX、郵送（住所・氏名・電話番号・相談内容を明記）で市民相談室まで。※市民限定。抽選10人。年度内で初めての人を優先			
	多重債務専門法律相談	8日(金)・22日(金)	15:30～17:00	市民相談室	市民相談室 TEL24-7027 FAX23-6537
		要予約／前日午後4時までに、電話で京都弁護士会（TEL075-231-2378）まで。各日先着3人			
	府民無料法律相談	8日(金)	13:30～16:30	㊞・㊐京都府福知山地域総務防災課 TEL22-3901	
		要予約／3日前の午前9時から、上記問い合わせ先へ電話で。先着8人。			

略記号の説明　㊞＝場所　㊐＝問い合わせ先　㊎＝社会福祉協議会

〒620-8501
京都府福知山市字内記13番地の1
TEL.0773-22-6111(代表) FAX.0773-23-6537

■発行/福知山市 ■編集/秘書広報課広報係
Eメール hisyo@city.fukuchiyama.lg.jp
※「広報ふくちやま」の表記は、新聞表記基準に準じています

シリーズ 福知山の文化財

文化財NEWS NPO法人丹波漆 選定保存技術の保存団体認定へ

7月19日㈮、国の文化審議会は、夜久野町で活動する特定非営利活動法人丹波漆（NPO法人丹波漆）を国の選定保存技術「日本産漆生産・精製」の保存団体に追加認定することを文部科学大臣に答申しました。

選定保存技術とは文化財を後世に伝えていくために必要な修理技術や用いられる材料、道具の製作技術などを言います。そして、その技術を保持する個人や団体を保持者または保存団体として国が認定し、技術の保存を図っています。

そのひとつが昭和51年に選定を受けた「日本産漆生産・精製」です。日本産漆は漆芸等の製作や文化財の修理には欠かせない原材料です。漆生産はウルシの植栽や保育・管理、漆液の採取等の技術、漆精製は用途に適した漆を製造する技術のことです。すでに2団体が保存団体として認定を受けており、NPO法人丹波漆はこの2団体に加え、新たに選定保存技術「日本産漆の生産・精製」の保存団体として認定されることになりました。この選定保存技術における保存団体への認定は西日本で初めてのことです。

NPO法人丹波漆は昭和23年に漆掻き職人の衣川光治（きぬがわみつじ）氏が設立した丹波漆生産組合が母体となり、植栽等に関する諸技術の保存や漆掻き職人の育成、漆文化とその価値の発信を通して丹波漆の保存に寄与することを目的に、地域に密着した取り組みを積極的に行ってきました。

これらの活動は、夜久野の漆を後世に繋いでゆくために尽力してきた先人たちの想いを引き継いできたものです。

その想いの継承がわが国の文化財の保存・修理に欠かせない「日本産漆」の生産・精製を支える技術として重要であると国に認められ、このたびの保存団体への認定につながりました。

将来、夜久野の漆が広く文化財修理に使われる日が来るかもしれません。

漆掻き（NPO法人丹波漆　提供）

ふくちやまにドッ恋セ。

（編集後記）

今月号、特に大変だったのは表紙の写真撮影です。佐藤さん一家の3人の子どもたちは、まさに元気いっぱい。1人をお母さんが捕まえると1人が脱走、お父さんが捕まえに行く頃にはお母さんから別の1人が脱走、子どもたちの元気な声、準備したオレンジのポスターはもうぐちゃぐちゃ、てんやわんやの末、撮影できた1枚でした。終始賑やかな撮影で、職場に戻ってからも“ふふっ”と笑ってしまうほど。その一方で、「もし骨髄バンクがなかったら、あの賑やかな風景はなかったんよな…」とも。骨髄バンクやドナーさんが移植を必要とする人の人生に与える影響はとても大きいことを知りました。今月号を通して、皆さんと一緒に骨髄バンクのことを考えることができ、とてもうれしく思っています。　（芦田）

Q クイズ & アンケート

クイズに正解し、アンケートに答えていただいた市内にお住まいの人の中から抽選でプレゼントが当たります。

今月のプレゼント

図書券500円分 …… 3名様

▶ クイズ　7ページを読んで、下の○○○○○に入る言葉をお答えください。

10月11日開催の
献血・○○○○○の輪を広げる講演会

▶ アンケート

問1　今月の「広報ふくちやま」でよかった、ためになった、おもしろかった記事とその理由を教えてください。

問2　今月の「広報ふくちやま」をきっかけに行動したこと、しようと思っていることがあれば教えてください。

▶ 応募方法　10月25日(金) 締切（消印有効）

①クイズの答え ②郵便番号・住所 ③名前（ふりがな）④年齢 ⑤電話番号 ⑥アンケートの回答 を書いて、下記の方法でご応募ください。右下の二次元コードからも回答できます。

＜ハガキ＞〒620-8501（住所記載不要）
福知山市秘書広報課「広報10月号クイズ」係
＜メール＞ hisyo@city.fukuchiyama.lg.jp
件名を「広報10月号クイズ」としてください。

※個人情報は賞品の発送にのみ使用します。※当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。※応募は一人一通まで。
※お寄せいただいたご意見やご感想は、匿名で広報誌やホームページなどに掲載することがあります。
※アンケートやご意見の内容は抽選に影響しません。

9月号のクイズの答えは「171」でした。たくさんのご応募ありがとうございました。